

## 事業概要の広報資料

補助事業番号 21-49

補助事業名 平成 21 年度 地域の技術・産業振興補助事業

補助事業者名 財団法人 ちゅうごく産業創造センター

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

中国地域における「産業クラスター計画」の推進機関として位置付けられており、中国地域の産業活性化及び技術水準の向上ひいては新産業の創造並びに活力ある地域経済の実現を図るべく調査・支援を行い、地域経済の課題である新産業の創造を軌道に乗せるため、活力ある地域経済の実現に向け戦略的・効率的な事業運営を行う。

#### (2) 実施内容等

前記目的のため、次の 4 つの事業を実施した。

##### ア. 技術シーズの発掘・育成

大学等が保有する技術シーズを活用して、地域の企業等との連携による共同研究へと進め、地域産業の技術力向上、新規産業の創出を図り産学官連携新産業創出研究会を効率的に実施するため、これらに係る研究テーマの評価（目利き）を行った。

##### (ア) 産学官連携新産業創出研究会

21 年度は採択した 15 テーマについて各 3~4 回の研究会を開催し、これらの研究会から国家プロジェクトへ 12 件が応募し、2 件が企業による商品開発へ進展した。

##### (イ) 評価委員会

応募テーマ 29 件について、業界の動向や市場ニーズを踏まえて審議し、15 件を新産業創出にかかる研究会テーマとして採択した。

##### (ウ) 産学官研究交流会

研究交流会を、3 テーマ、計 5 回開催し、大学の研究シーズと中国地域の企業とのマッチングを図った。参加者は延べ 375 名の実績となり、ネットワーク作りに繋がっている。

##### イ. 技術開発成果事業化支援

前年度に完了した産学官連携新産業創出研究会等の成果発表を行うとともに、企業、金融機関とのマッチングを図るため、中国地域の企業、大学等の研究機関、産業振興団体、公設試験研究機関等に参加を呼びかけ、マッチング交流会を広島市で開催した。そ

して技術移転を一層促進し、事業化、商品化に向けてフォローアップするため研究開発成果事業化推進委員会を行った。

(ア) 産学官連携ビジネスマッチング交流会

84名（うち金融機関16名）の参加者を迎え、新産業創出研究会や地域新生コンソーシアム等から6件の発表を行い、発表者と企業・金融機関とのマッチングを図った。また、開発製品等の展示会を開催し好評を得た。

(イ) 研究開発成果事業化推進委員会

これまでに終了した地域新生コンソーシアム研究開発事業等の経済産業省受託事業の補完研究実施状況、事業化に向けた取り組み状況をフォローし、今後のプロジェクトの進め方について協議した。

ウ. 人材育成・啓発

大学、企業における研究者および中国地域で優秀な研究者を招聘し、企業管理者、技術者、研究者を対象とした技術シンポジウムを開催し、最先端技術動向等の講演を行うことにより、中国地域の企業、大学の研究者等の参加者の人材育成、啓発に資する。（当センターが実施している産学官連携新産業創出研究会、テーマ別研究交流会等への参加のための啓発を行った。）

(ア) イノベーションシンポジウム

「安心・快適な生活を実現する最先端技術」と題して、医療用マイクロマシンの現状と展開、環境・エネルギー問題に対応する動向について講演いただき、約190名の参加者を得て盛況であった。

エ. 地域産業創出支援

中国地域機械工業の活性化をはかり、活力ある地域経済の発展に寄与するため、将来の技術戦略、事業展開方策に関して、学術経験者等で構成する調査検討委員会を設置し、調査研究を企画・実施した。

(ア) 中国地域における航空機関連産業の振興方策調査委員会

大学、企業、行政機関、経済団体、支援機関等の有識者で構成する委員会を4回開催し、航空機関連産業の振興方策策定に関する示唆を頂いた。

(イ) 中国地域における航空機関連産業の振興方策策定に関する委託調査

シンクタンクによる文献調査および地域内の公的試験研究機関、企業等のヒヤリングを実施し、委員会の指導のもとに調査を実施し、調査報告書「中国地域における航空機関連産業の振興方策」に取り纏め、中国地域の大学、企業、行政機関、経済団体等の関係者に配布した。

## 2. 予想される事業実施効果

### ア. 技術シーズの発掘・育成

#### (ア)産学官連携新産業創出研究会

大学等が有するシーズを基に、地域の企業、公設試験研究機関等が参画して、研究活動を行うことにより、新産業創出のシーズとなる中国地域産業の技術レベルの向上に寄与しており、地域の機械産業振興に直接的・間接的に貢献できる。

#### (イ)評価委員会

評価委員会で取り上げられた研究シーズは1年にわたりブラッシュアップされ、企業との共同研究へとステップが進み、将来の事業化が具体的に期待できるようになる。

#### (ウ)産学官研究交流会

シーズとニーズの出会いの場、地域産業の基板知識の共有の場として貴重な機会を提供した。参加企業は潜在ニーズを基に、当産学官研究交流会で得られたシーズ情報と、基盤となる知識をもとに、意欲を持った地域集団として事業成功へ向け、検討を継続発展させることが期待できる。

### イ. 技術開発成果事業化支援

#### (ア)産学官連携ビジネスマッチング交流会

新産業創出研究会や地域新生コンソーシアム事業等から事業化に近いテーマ6件の発表を行ったことにより、発表者と企業・金融機関とのマッチングが図られ、新たな事業への進出等のビジネスチャンス拡大が期待できる。

#### (イ)研究開発成果事業化推進委員会

これまでに終了した地域新生コンソーシアム研究開発事業等の経済産業省受託事業の補完研究実施状況、事業化に向けた取り組み状況をフォローし、今後のプロジェクトの進め方を協議することにより、今後の事業化推進、技術水準の向上、新事業創出等への期待ができる。

### ウ. 人材育成・啓発

#### (ア)イノベーションシンポジウム

今回ミクロなモノづくりから大型プラントまで、時代の先端を行く技術を紹介したことにより、中国地域の機械工業をはじめとする産業の振興につながると期待できる。また、技術面だけでなく、人材育成の重要性・やり方についても紹介したことにより、長期的な効果も期待できる。

### エ. 地域産業創出支援

今回の調査において、中国地域の中堅・中小企業が航空機関連分野への展開を図るために、担うことが可能な分野、必要とされる技術レベル等の課題を把握した。また、中国地域における航空機関連産業の集積を図るために地域が取り組む方向性を定め、振興に必要な具体策とその手順について検討した。今後、

中国地域における航空機関連産業の振興・発展につながることが期待される。

### 3. 本事業により作成した印刷物等

#### ア. 地域産業創出支援補助事業

(ア) 中国地域機械工業の振興に関する調査

[調査報告書「中国地域における航空機関連産業の振興方策調査」](#)

### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人ちゅうごく産業創造センター（ザイダンホウジンチュウゴクサンギョウソウゾウセンター）

住所：730-0041

広島県広島市中区小町4番33号 中電ビル2号館

代表者名：会長 松井 三生（マツイ ミツオ）

担当部署：産業部

担当者名：産業部部长 渋下 信明（シブシタ ノブアキ）

電話番号：082-241-9910

F A X：082-240-2189

U R L：<http://www.ciicz.jp/>